

## 亜鉛の分析法

日本工業規格 K 0 1 0 2 (工場排水試験方法) 5 3 に定める方法 (準備操作は規格によるほか、キレート樹脂イオン交換法を用いることもできる。) で分析する。

具体的には、酸処理後、必要に応じ溶媒抽出法、又はキレート樹脂を用いたイオン交換法により前処理を行い、以下のいずれかの方法で測定する。

フレイム原子吸光法

電気加熱原子吸光法

ICP 発光分光分析法

ICP 質量分析法

### 酸処理について

懸濁物の有無に応じて、酸による前処理を行うこととなっている。

塩酸又は硝酸酸性で煮沸

この方法は、有機物や懸濁物が極めて少ない試料に適用する。

塩酸又は硝酸による分解

この方法は、有機物が少なく、懸濁物として水酸化物、酸化物、硫化物、りん酸塩などを含む試料に適用する。

硝酸と過塩素酸とによる分解

この方法は、酸化されにくい有機物を含む試料に適用する。

硝酸と硫酸とによる分解

この方法は、多種類の試料に適用することができる。